

## ●調査レポート

### 第76回 埼玉県内企業経営動向調査－2011年7～9月期－

調査対象：県内企業 571社                      調査方法：アンケート方式（8月上旬 郵送回収）  
 回答企業：314社（回答率 55.0%）          業種別内訳：製造業 182社      非製造業 132社  
 調査分析方法 BSI方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

#### <概況>

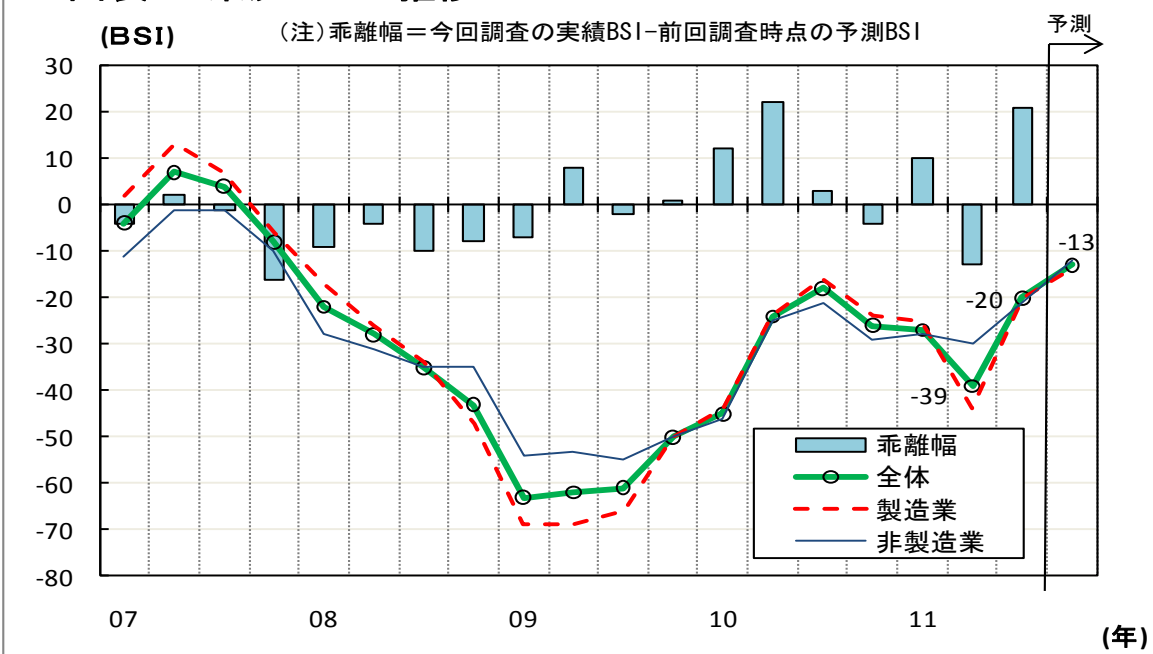
県内企業の業況感は東日本大震災後の落ち込みから足元持ち直している。業況判断 BSI は-20 と、前回(4～6月期)に比べ 19ポイント上昇、2010年7～9月期以来 4四半期ぶりに持ち直した。

今回集計結果の特徴を規模別にみると、前回に比べ「規模の小さい企業」（従業員 100人未満）は 7ポイント上昇と小幅なもの、「規模の大きい企業」（従業員 100人以上）は 32ポイントと大幅に上昇、規模の大きい企業を中心に業況感の改善が窺える。

業種別にみると、製造業は、サプライチェーンの復旧による生産活動の急回復や、生産の遅れを取り戻す増産の動きもあって生産高が急回復し、素材型や生活関連型に比べ加工組立型の業種で業況感が大幅に持ち直している。非製造業は、自粛ムード等の緩和による消費マインドの回復から卸売や小売で、荷動きの復調から運輸・倉庫で、業況感が持ち直している。

先行き(10～12月期)の業況判断 BSI は-13 と、持ち直しが続く見通しとなっている。業種別にみると、製造業では、急激な円高や海外経済の不透明感から輸出関連の加工組立型で業況感が足踏みするものの、本格的な復興需要が期待される素材型を中心に持ち直しが続く。非製造業は消費マインドが緩やかに回復していくなかで、業況感が持ち直す見通しとなっている。

#### 図表1. 業況BSIの推移



## 1. 業況判断 BSI (「良い」 - 「悪い」) ~ 4 四半期ぶりに持ち直し~

今回調査の業況判断 BSI は、依然としてマイナスながら前期比 19 ポイント上昇の-20 となっており、東日本大震災後の落ち込みから持ち直している。

規模別にみると、規模の大きい企業は、マイナス幅が規模の小さい企業に比べ大幅に縮小している。業種別にみると、製造業では、加工組立型を中心にほとんどの業種で業況感が持ち直している。非製造業は、卸売、小売、運輸・倉庫などで業況感が持ち直している。

図表2. 規模別・業種別業況判断BSI

	2010年				2011年				2011年 10~12月 (先行き)
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	前回予想	
<b>全体</b>	-45	-24	-18	-26	-27	-39	-20	-41	-13
100人未満	-52	-28	-32	-37	-34	-36	-29	-40	-19
100人以上	-37	-19	-3	-13	-19	-42	-10	-43	-6
<b>製造業</b>	-44	-24	-16	-24	-25	-44	-20	-44	-14
100人未満	-49	-24	-30	-34	-29	-39	-27	-38	-17
100人以上	-38	-23	1	-12	-21	-50	-14	-50	-10
<b>素材型</b>	-35	-21	-28	-21	-23	-43	-24	-39	-9
パルプ・紙・紙加工品	-44	-9	-29	-38	-31	-50	-31	-29	-15
化学・石油製品・ プラスチック・ゴム製品	-40	-27	-23	0	-31	-36	-6	-14	20
鉄鋼・非鉄金属	-45	-25	-15	-25	-50	-46	-31	-58	-23
金属製品	0	14	-18	-7	15	-33	-15	-58	8
その他素材型	-54	-53	-44	-29	-18	-47	-35	-41	-30
<b>加工組立型</b>	-55	-22	-2	-24	-23	-45	-11	-43	-10
一般機械器具	-72	-53	-21	-31	-17	-24	0	-25	-11
電気・情報通信機械器具	-60	-23	-8	-33	-41	-79	-20	-79	-14
電子部品・デバイス	-67	-11	10	8	-23	-54	-8	-8	-8
輸送用機械	-31	8	0	-36	-36	-62	-23	-69	0
精密機械	-29	-18	14	-25	8	-21	-7	-43	-15
<b>生活関連型</b>	-46	-39	-23	-32	-41	-50	-38	-60	-35
飲・食料品	-33	-23	8	-14	-23	-38	-21	-54	-36
印刷・同関連業	-67	-60	-67	-55	-57	-62	-58	-67	-33
その他製造業	-13	-14	0	-14	-14	-29	-14	-43	-29
<b>非製造業</b>	-46	-25	-21	-29	-28	-30	-21	-37	-12
100人未満	-57	-33	-34	-41	-41	-30	-32	-42	-22
100人以上	-34	-15	-8	-15	-15	-30	-5	-33	2
一般建設	-68	-52	-52	-64	-50	-39	-44	-53	-48
住宅建設	9	18	9	36	-14	-8	-8	-31	8
卸 売	-47	-42	-25	-39	-16	-33	-24	-19	-5
小 売	-45	-19	0	-44	-28	-38	-26	-48	-8
運輸・倉庫	-53	-13	-25	0	-25	-17	0	-50	10
不動産	-38	-20	0	-33	-54	-23	-27	-23	-13
その他非製造業	-45	-17	-27	-17	-11	-39	5	-33	0

2010年10~12月期から素材型の「繊維・衣服・その他の繊維」、「木材・木製品・家具」、「窯業・土石」を統合し、「その他素材型」とした。また、「建設」の業種名については、「住宅建設」と明確に区別するため、「一般建設」に変更した。

## 2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～加工組立型中心にプラスに転化～

製造業では、サプライチェーンの復旧による生産活動の回復から、素材型が -50 → 5(前回→今回、以下同じ。)加工組立型が -26 → 32 と回復に転じている。非製造業では、卸売が -28 → 5、小売が -20 → 7、荷動きの復調から運輸・倉庫が 0 → 25 と顕著に回復している。

図表3 売上(生産)高 BSI

	(前々回調査) 11年1～3月期	(前回調査) 11年4～6月期	(今回調査) 11年7～9月期	(先行き) 11年10～12月期
全体	-15	-31	10	22
製造業	-20	-36	14	23
非製造業	-9	-22	5	22
規模の小さい企業	-21	-31	-1	18
規模の大きい企業	-9	-30	23	27

## 3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業で大きく改善～

売上（生産）高が回復したことから、製造業では加工組立型が -29 → 16 と改善が顕著となっている。非製造業では卸売、小売、運輸・倉庫などが持ち直している。

図表4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 11年1～3月期	(前回調査) 11年4～6月期	(今回調査) 11年7～9月期	(先行き) 11年10～12月期
全体	-19	-36	3	12
製造業	-23	-37	6	11
非製造業	-14	-33	-2	14
規模の小さい企業	-26	-35	-8	10
規模の大きい企業	-11	-36	14	14

## 4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～加工組立型を中心に回復～

製造業では、サプライチェーンの復旧による供給側の制約が和らぐなかで輸出が増加し、加工組立型が -7 → 22 とプラスに転じている。先行きは、急激な円高や海外経済の不透明感から、素材型、加工組立型とも回復のテンポが鈍る見通しとなっている。

図表5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 11年1～3月期	(前回調査) 11年4～6月期	(今回調査) 11年7～9月期	(先行き) 11年10～12月期
全体	13	-5	12	14
製造業	18	-8	14	16
非製造業	-2	6	6	6
規模の小さい企業	7	-1	9	10
規模の大きい企業	19	-9	15	18

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業で若干過剰感薄れる～  
過剰感は製造業で幾分薄れ、非製造業では依然としてほぼ横ばいとなっている。

図表 6 生産（販売）設備 BSI

	(前々回調査) 11年1～3月期	(前回調査) 11年4～6月期	(今回調査) 11年7～9月期	(先行き) 11年10～12月期
全体	6	5	3	2
製造業	8	8	4	3
非製造業	1	1	0	-1
規模の小さい企業	3	1	1	0
規模の大きい企業	8	9	5	4

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業で過剰感が薄れる～

製造業は素材型や加工組立型で過剰感が薄れ、非製造業では不足感が広がっている。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 11年1～3月期	(前回調査) 11年4～6月期	(今回調査) 11年7～9月期	(先行き) 11年10～12月期
全体	4	13	2	0
製造業	11	22	8	6
非製造業	-7	-2	-7	-10
規模の小さい企業	3	9	3	2
規模の大きい企業	5	17	1	-3

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～製造業で「楽」超に転じる～

非製造業で資金繰りが引き続き厳しい状況にあるが、製造業で「楽」超に転じている。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 11年1～3月期	(前回調査) 11年4～6月期	(今回調査) 11年7～9月期	(先行き) 11年10～12月期
全体	-1	-5	-2	-4
製造業	4	-4	3	2
非製造業	-7	-8	-9	-13
規模の小さい企業	-4	-13	-9	-10
規模の大きい企業	3	3	6	2

(以上)